

# 第7回 下北地区統合校検討委員会

## 【会議録】

令和7年2月19日(水)

むつ市政策推進部企画課

1.日 時 令和7年2月19日(水) 13:00 ~14:00

2.場 所 むつ市役所 大会議室A

3.出 席 者 【委員】

高橋 興 青森中央学院大学 特任教授

阿部 謙一 むつ市教育委員会 教育長

半田 義秋 川内町商工会 会長

野呂 政幸 県立むつ工業高等学校長

岩渕 崇 むつ市連合PTA 会長

畑山 元康 下北地方中学校長会 研究委員長

濱田 大臣 県立むつ工業高等学校 PTA 会長

堺 祐介 大間中学校PTA 会長

畑中 貢 東通中学校PTA 会長

中塚 将行 風間浦中学校PTA 会長

工藤 秀吾 佐井中学校長(佐井中学校PTA会長津田委員代理)

高坂 一弘 県立大湊高等学校PTA 会長

佐々木 一浩 県立大湊高等学校 後援会 理事長

欠 席:内田 大輔 むつ商工会議所 会頭

越後林 達巳 大畑町商工会 会長

伊藤 文一 県立大湊高等学校長

石田 佳奈 むつ市連合 PTA 副会長

大久保 斉 むつ市連合 PTA 副会長

木村 努 県立むつ工業高等学校 同窓会 会長

又村 彰 県立大湊高等学校 同窓会 会長

吉田 成人 県立むつ工業高等学校 後援会 理事長

【オブザーバー】

○青森県教育庁

佐藤 広洋 高等学校教育改革推進室 室長

花田 朋亨 高等学校教育改革推進室 室長代理

渡部 裕介 高等学校教育改革推進室 主事

○町村

山本 隆 大間町教育委員会 教育長

奥島 涼子 東通村教育委員会 教育長

村上 純一 風間浦村教育委員会 教育長

曾根 智子 佐井村教育委員会 教育長

小原 広基 横浜町教育委員会 教育長

【事務局】

角本 力 政策推進部 部長

黒澤 幸太郎 政策推進部 次長

井戸向 秀明 政策推進部 企画課長

大橋 貴子 政策推進部 企画課 主幹

西田 裕昭 政策推進部 企画課 主幹

川端 寿英 政策推進部 企画課 主任

吉田 美咲 政策推進 部企画課 主任

## 1. 開会

(司会)

本日はお忙しい中、御出席賜り、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、「第7回下北地区統合校検討委員会」を開催いたします。

それでは早速ですが、次第の2「案件」に入りたいと思います。ここからは座長生に進行をお願いしたいと存じます。高橋座長よろしく申し上げます。

## 2. 案件

(座長)

恐縮ですが、進行を務めさせていただきます。本日もよろしく申し上げます。

それでは、早速進めていきたいと思います。まず、「要望書の提出についての報告」について事務局から説明をお願いします。

(企画課長)

むつ市政策推進部企画課長の井戸向と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、ここからは着座にて御説明させていただきたいと思ひますので御了承願ひます。

前回、第6回検討委員会におきまして、皆様に御確認いただきました「要望書」を、昨年11月27日に県教育委員会風張教育長様に提出して参りました。当日の詳細につきましては、資料として、事前に発言記録を送付させていただいておりますので、ここでは簡単にその概要を御説明させていただきます。

当日は、まず市長から要望内容全般について御説明させていただきまして、今年度県教育委員会様が設置いたしました「情報交換会」、そして来年度設置される「開設準備委員会」において、この要望書の内容を十分に議論に加えてほしいということ、今後も十分な説明と情報提供を実施していただきたいこと、地域全体でできる限りの協力をしていきたい旨を風張教育長始め県教育委員会の皆様にお伝えしております。

続きまして、高橋座長からは、むつ市内の高校教育が充実するような計画にしてほしい、PTAに依存しない形で、コミュニティスクールの取組を県教育委員会様の指導の下、進めてほしいとの御発言をいただきました。

これに対しまして、風張教育長様からは要望書の提出に当たり、市の検討委員会で6回にわたる会議での検討を重ね、集約したことについて御礼の御言葉をいただいております。また、統合校の特色ある教育活動・部活動等に関する要望については、開

設準備委員会につないでまいりたい、また、同席された県教育委員会 長内理事 様からは、こどもや地域のニーズに対応していくために選択科目を多くするメリットについて御教授いただき、さらに一緒にアイデアを出しながら工夫していきたいとの御発言をいただいております。

最後に市長から、こどもたちがやりたいことを実現するため、お互いに知恵を絞って一緒になって課題の解決に取り組んで参りたいとお伝えして、これをもちまして意見交換は終了となっております。

以上が当日の概要であります。お互いに前向きな意見交換がなされ、非常に有意義な要望活動を実施できたものと認識しております。なお、スケジュール調整がつかず、宮下知事に要望書を直接お渡しすることは叶いませんでしたが、県教育委員会様を通じて提出していただいております。

説明は、以上でございます。

(座長)

御説明ありがとうございました。

続きまして、「要望書の回答について」ですが、せっかく佐藤室長様がいらしているので青森県教委から、回答書に関して御説明をお願いします。

(佐藤室長)

高等学校教育改革推進室の佐藤です。本日はよろしくお願いたします。

今お話がありましたように、11月27日に要望書を提出いただきました。その要望書に対して回答ということで、皆様方のお手元に1月20日付けの回答という文書がございますでしょうか。それに基づきながら御説明させていただきたいと思ます。座って説明させていただきたいと思ます。

まず資料の、回答書が4ページございます。その概要を、御説明させていただければと思っております。

最初に、要望項目1番目の「生徒たちが望み、地域が必要とする学科とし、多様な教育環境・カリキュラムを整備すること」ということで、ナンバーが左の方に振られているのですが、(1)、(2)、(3)、(4)、(7)、(8)をまとめて説明させていただきたいと思ます。

統合校の教育内容等に関しては、令和7年度に開催する開設準備委員会の協議結果を踏まえ、令和8年度に設置する開設準備室で教育課程を編成するなど、具体的な準備を進めていくこととしております。

このことから、教育内容等に関する要望につきましては、開設準備委員会につないでまいります、ということで回答させていただきました。

また(5)「学校権限で地域と相談なく変わることはないよう、県教育委員会として科目を保証すること」ということに対しては、県立高等学校の教育課程につきましては、校長先生が編成し、県教育委員会等へ届け出ることとなっておりますので県教育委員会において今後、確認・指導を行っていきたいと考えております。

1番目の最後の(9)のところですが、統合校については、第2期実施計画において、総合学科3学級、工業科2学級の全日制課程の高校と決定しております。定時制課程の設置につきましては、令和7年2月に県教育長へ報告される予定の、魅力づくり検討会議の結果等も踏まえながら対応を検討してまいりたいと考えております。

続きまして2ページの方を御覧ください。要望項目2「生徒たちが行きたいと思える新校舎にすること」ということで(1)から(4)のところをまとめて回答させていただければと思います。

新校舎の設計において、管理・教室棟には、1階から3階まで吹き抜けとなるダイナミックホールとその隣に大講義室を配置しております。大講義室につきましてはホールとの壁をオープンにすることができ、中庭への出入口も設けることで、ホール、大講義室、中庭と連続した大空間とすることが可能であり、学校行事のみならず、地域交流等でも活用できるものと考えているということになっております。

続きまして(5)、(6)、(7)、(8)ですけれども、まず(5)のところでは、全ての県立高校において、必要不可欠な高速ネットワークを整備しております。統合校においても同様に整備することとしております。

(6)につきましては太陽光発電等についてです。むつ工業高校に現在設置している太陽光発電設備を、統合校において引き続き活用することを考えております。また地震に備えた設備についても、天井設置機器及び器具は耐震固定を行い、耐震性を確保した設計としているほか、避難所として使用されると想定し、バリアフリー法の規定に対応した設計としております。

(7)、(8)を省略させていただきます、続きまして3ページを解説させていただければと思います。「現校舎を利活用すること」ということですが、回答といたしましては、閉校後の校舎等につきましては、統合校による利活用に配慮した上で、利活用予定のない施設等については、県全体で利活用を検討することとしております。その上で、県で利活用しない場合は、むつ市さんによる利活用に配慮するということが想定しております。

続きまして4番目です。「部活動、体育活動に支障のないグラウンドを整備すること」ということで、何点か要望がございました。(1)から(3)のところまでまとめて御回答させていただきます。

統合校の部活動等に関しては、令和7年度に開設する開設準備委員会での協議結果を踏まえ、令和8年度に設置する開設準備室で決定することとしております。このことから、部活動等に関する要望については開設準備委員会につないでまいりたいと考えております。また、活動場所等については設置される部活動に応じて、統合対象校及び統合校と連携しながら確保に努めてまいります。なお、野球場とグラウンドの併置に関しては、今後設計を進める中で学校側と協議しながら配置計画を決定することとしております。

それから、(4)「活動場所が確保できなかった場合は、野球場やグラウンドの新設を検討すること」ということに対しては、活動場所の確保については、現在も引き続き検討してまいります。

(5)「グラウンド工事によって、本来の活動が制限されることのない工事スケジュールにすること」ということですけれども回答といたしましては、むつ工業高校については、校舎等の建替用地が確保できない状況であるため、グラウンドには新校舎を建築することとしたものです。新たなグラウンドを整備するまでの間は、教育活動への影響が最小限となるよう配慮してまいりたいと考えております。

(6)部活動等に関しては、開設準備委員会につないで参ります。なお、第1期実施計画期間では、統合対象校同士や統合対象校と統合校の合同チームで青森県高等学校総合体育大会に出場している事例がございます。

続きまして4ページの方になります。「その他の課題の対策」ということで5点ほど回答させていただいております。

まず(1)と(2)をまとめて回答させていただければと思います。回答といたしましては、令和7年2月に県教育委員会教育長へ報告される予定の魅力づくり検討会議の議決を検討結果等も踏まえながら対応を検討していきたいと考えております。その場での回答ですけれども、R7年度に開催する開設準備検討委員会については、統合対象校の関係者に加え、地域の方々も委員として想定しているところであり、同委員会においても地域の意見を伺うことができるものと考えております。

(4)「情報を示し、地域の理解を進めながら計画を遂行すること」ということに対しては、統合校を志望する中学生やその保護者に対し、広報紙や体験入学などを通じて周知を図るとともに、様々な機会を捉え、地域の情報提供をしてまいりたいと考えて

おります。

回答の概要ということで説明させていただきました。主に今回いただいた要望書につきましては次年度に開設される開設準備委員会につなげながら、十分に検討を行っていきたいと考えております。説明は以上となります。

(座長)

ありがとうございました。

この質問事項が1から5まで多岐にわたりますので、煩雑にはなりますが、ひとつずついきたいと思います。佐藤室長よろしいですか。それでは1から順にいきたいと思います。1のところまで御質問のある方お願いします。

(半田委員)

川内町商工会の半田です。県への要望活動、角本部長始め、井戸向課長、大変御苦勞様でした。そして回答をもらいましたので私も読みました。今まで我々が1番討論をしてきた、一丁目一番地の教育内容、それから一丁目二番地の部活動、これに対しては令和7年度4月から開催される開設準備委員会で検討するということになっていますよね。

そこでお聞きしますけれども、内容そのものはいいです。ただその準備委員会は4月1日から始まるわけですよね。メンバー、人数、新しくなるメンバー、どういう人がメンバーになるのか、よかったら教えてください。

(佐藤室長)

来年度開設される、開設準備委員会は4月ちょうどという形には事務手続上ならないのかなとは思いますが、早い段階で、会議の組織は作っていきたくております。併せて今お話があったようにメンバーのことですけれども、委員のメンバーのことについては来年度のことですので、こういうメンバーでやりますということはお伝えできないのですが、これまでやってきた会議（情報交換会）のメンバーのことをお伝えしたいと思います。このメンバーとしましては、統合対象校の校長先生、それから外郭団体、小学校にあるPTAとか同窓会、後援会など学校の外郭団体であったり、それからその学校が所在する自治体の教育長さん、あとはこれまでは地域の教育者、教育関係者ということでメンバーを構成しておりました。ですので、次年度行う開設準備委員会はこれまでの構成を当初の参考にしながら組織させていた

だきたいと考えております。

(半田委員)

どうもありがとうございました。

回答文ですが、それなりに良い回答はもらっておりますけれども、一番大事なのは、教育内容と部活に関しては、今後4月から実施の開設準備委員会に全部検討してもらうということですよ。それでメンバーを今聞いたら、PTAとか校長とか、ほとんどこの(統合校検討委員会)メンバーとあまり変わらないメンバーというか、代わり映えないですよ。どうでしょうか。

(佐藤室長)

委員の構成としますと、そのような感じだと見ております。

(半田委員)

それなら今までの経緯、5回も6回も話し合っているのだから、皆さんも十分承知していると思うので、より良い方向に進んでいくのではないかと考えております。どうもありがとうございました。

(座長)

はい。学校教育の根幹に関わる質問でしたが、これに関連する質問がある方はいらっしゃいますか。

(高坂委員)

大湊高校PTAの高坂です、よろしくお願いします。

今の半田委員の御質問に加えさせてもらって、回答書の1番ということでお答えいただいて、今の半田委員のお話に付け加えさせていただくと、5番で今後、開設準備委員会にはこういった学校関係者プラス「地域の人々」という文言があります。その地域の人々というのはどこまでをイメージしているのか、想定しているのか、そういったことをお聞かせ願えればと思います。方向性というものを知りたいので。

(佐藤室長)

はい。5番というのは「その他の課題への対策」というところでよろしかったでし

ようか。

(高坂委員)

はい、そうです。

(佐藤室長)

この(3)の「下北地区統合校に係る開設準備委員会における委員の意見を十分に反映させた学校づくり」というところで、地域の方々の委員というのはどういう方向性なのかということですよ。

今現在、県の方では、情報交換会ということで、県が主催して、統合予定の校長先生、それから学校の外郭団体、それから地域の教育長さん、それから地域の商工団体の方も入っていただきながら、意見をまとめております。方向性としてはそのような方向が考えられるのではないかなというふうには思っております。

(高坂委員)

はい、ありがとうございます。ということは、特にその地域の、例えば町内会長さんであるとか、そこに本当に地域に根ざしたお住まいの方というところは、特に想定は今はしていないということよろしいでしょうか。

(佐藤室長)

そうですね。その部分については未確定という状況でございます。

(高坂委員)

はい、わかりました。ありがとうございます。

(座長)

それではこれに関連することで、他に御質問の方いらっしゃいますか。1の学科、カリキュラムについてです。よろしいですか。それでは2番「新校舎について」御質問がある方いらっしゃいますか。

(濱田委員)

むつ工業高校のPTAの濱田です。よろしく申し上げます。2の新校舎についてと

ということで、以前校舎の図面を「案」という形で見させていただきました。そのときはまだ決まってない、ということで回収されております。また質問しようと思っていたのですが、2のグラウンドの件のところで、グラウンドの件はこれから考えます、という話をいただいているのですけれども、実際、新校舎の概要はいつ頃、正式なものを私達や地域の方々にお伝えできるのでしょうか。

(佐藤室長)

施設、校舎のことについてですけれども、担当課が違うところになりますけれども、状況としましては2月下旬に公告、その建物の建築・建設に対する公告というものがありますので、今まだそこまで具体的にはお知らせ、お伝えすることはできないので、公告が終わった以降という形になっていくのかなとは思っております。すみません、正確な言葉で伝えられないので申し訳ございません。

(濱田委員)

広告というのはなんと言うか、学校を3Dとかで立体的に見せてこんな感じになりますよ、というようなものですか。

(佐藤室長)

すみません。そちらの広告ではなくて、「公に告げる」の方の、建物の設計入札などをする方の公告として、宣伝する方の広告ではございませんでした。そういうような段取りがあって建築とか設計が始まっていくということですが、それが2月下旬を予定しているということで、それ以降に詳しくお知らせしていくということになります。

(濱田委員)

はい、ありがとうございます。

(座長)

はい、続けていきます。新校舎について他に質問があればお受けしますがよろしいですか。それでは次の「現校舎の利活用すること」について入りたいのですが、ここについて御質問がある方はお願いします。

無いようですので、私から質問をしたいのですが、この「県全体で利活用を検

討することとしております」とありますが、これまでこういう形で閉校した校舎があると思いますが、これまでの事例に対して県全体で利活用している事例はありますか。あればどのような形で利活用しているのでしょうか。

(佐藤室長)

例えば八甲田高校は統廃合しましたが、その後、埋蔵文化センターとして、文化財などを保管するという形で利活用させていただいている事例がございます。他にもあると思いますので、そういう事例はございます。

(座長)

ありがとうございました。他に質問ございますか。

それでは一旦この問題を終わりにして、4点目の「部活動、体育活動に支障ないグラウンドを整備する」という点について御質問ございますか。

(岩淵委員)

むつ市連合PTAの岩淵と申します。先ほど濱田委員からもあったようなグラウンドの使用の仕方ということで質問がありましたが、こちらの4番の(5)「部活動等で新たなグラウンドを整備するまでの間は、教育活動への影響が最小限となるように配慮して参ります」という記載がありますけれども、今現在どんな感じで、どのような計画でやられているのか、されているのかをお聞かせいただければと思います。

(野呂委員)

むつ工業高校の野呂です。よろしくお願いいたします。

これまで、県の事務局の方々の御協力をいただきながら野球の練習場に関しましては、打撃の練習を大湊高校のグラウンドを使用して部活動を行うということ、それから本来むつ市の運動公園が軟式仕様で、硬式が難しいというところでしたが、守備練習をするということだけで、運動公園の野球場を使わせてもらえるというようなことで話を進めさせてもらっていました。

併せまして、教科の方で体育の授業ですとか、あるいは陸上部ですとかグラウンドを使うような部活動に関しましても、既存の施設を利用するというようなことと、同じく運動公園の方を利用させていただくというようなことで、今話を進めさせていただいているというところです。よろしいですか。

(岩淵委員)

はい、ありがとうございます。

同じようにあるものを利用してやっていけばいいのかなというふう感じていたのが一点と、全体的に通してですけども、すごく企画課さんがそこをまとめていただいて、要望書の提出から本当に御苦勞様でした。ありがとうございます。また、回答を記入していただいてありがとうございます。

字面でパッと見ると、すごく丁寧な言葉に対して丁寧な回答をさせていただいているので、非の打ち所がないという感じですが、これまで統合校検討委員会でお話されてきたいろいろな言葉ですとか、我々もすごく口下手なものですからうまく言えないですけども、温度感というか、そういったものをどうか次の会議とか実際に従事される方々にお伝えしていただけるように、その部分をどうぞ御配慮いただければというふう感じていました。私の方からは以上です。

(座長)

それでは他に御質問はございますか。では次に「その他の課題への対策」について、御質問のある方お願いします。

(半田委員)

今まで3校、むつ市にあったわけですので、今まで3つの高校から選べたものが、生徒が皆この新しい高校の試験を受けたら、狭き門になるのではないかとことをPTAや知事も言っています。そこで、総合科が3学級、普通のおつ工業が2学級ということで、前の大湊とおつ工業の募集人員と比べて、募集人員が少なくならないですか。狭められるのか、多分これは開設準備委員会で議論するのでしょうか、室長、大体どうなのでしょう。

(佐藤室長)

はい。今回、下北地区統合校ということでおつ工業とそれから大湊高校を統合するという考え方の基になっているのは、下北管内の生徒数、中学校を卒業する生徒数がだんだん減ってきている、そうした中でも、きちんとした高等教育を受けられるような状況を確認したいという考えの基に統合校を検討しました。そうした中にはその生徒数の減少を見込んだ形で予定しております。それで管内の生徒が入ることができな

いというようなことを想定して統合はしておりませんので、その計画の中身は、減少していく生徒がある中でも、高等教育を確保していくことができるという考え方で統合させていただければというふうに考えておりました。

(半田委員)

はい、わかりました。ありがとうございます。要するに、ある程度の学力があればそんなに心配することはないということですね。

(佐藤室長)

はい。

(半田委員)

はい、わかりました。そういうことでしたら安心しました。よろしく願います。

(座長)

他にございますか。

(畑山委員)

下北地方中学校長会の畑山です。すみません、座ったままお話をさせていただきます。5番の(1)、あるいは大きい1番の、最初の方にも通じることですけれども、回答の方で「令和7年2月に県教育委員会教育長へ報告される予定の青森県立高等学校魅力づくり検討会議の検討結果等も踏まえて」というふうにあります。そちらの方を確認させていただいたのですが、これをお話できる範囲でどのような形で反映されるのかというようなことと、あとは「対応を今後検討していく」というようなことですが、具体的にどれくらいのスパンで、いつ頃を目処にというようなところが、もしあればお聞きしたいなと思って質問させていただきました。以上です。

(佐藤室長)

4ページの「その他の課題への対策」ということで、(1)「寮や下宿の整備を検討すること」だと思うのですが、よろしかったでしょうか。

(畑山委員)

あと、大きい1番の(9)ですね。

(佐藤室長)

「魅力づくり検討会議の検討結果を踏まえながら」というところだと思いますけれども、現在、魅力づくり検討会議というのは、令和10年度以降の、県立高校の高等学校のあり方を考えるというところで議論していただいております。

その土台となる報告書をいただいた後に、それをベースに10年度以降のあり方を県教委の方で考えていくという段階になりますので、その中で今お話があった寮のことや、それから1の(9)のこと、総合的に県全体を考えながら検討を加えていくというように考えております。まず具体的に統合をいつまでにやるのかというのはないのですが、あくまでもその10年度以降の県立高校、県立学校のあり方というところを含めてできればと考えておりました。

(座長)

今話題になっている魅力づくり検討会議は2月のいつ報告されるのですか。

(佐藤室長)

検討結果報告書は、(2月)20日に報告です。

(座長)

わかりました。それでは5番に関する質問はもうよろしいですか。

(濱田委員)

むつ工業の濱田です。私、県の主催の情報交換会に今参加しております、その場でもお伝えはしているのですが、今日はまた違う会ということで改めてお願いをしたいなと思います。

5(4)「情報を開示し」というところですが、先日むつ市長が県に行って要望書を提出した際の発言記録の中、3ページの上から2行目に書いていますけれども、進捗状況等をしっかり開示してくださいというようなお願いもはっきりされております。私はその情報交換会でもお伝えしたのですが、むつ子どもたちもそうですけど、保護者、あと中学校の先生方も、非常に情報がなくて困っている状況です。うちの息子が

通う中学校ではもう今の2年生、1年生の面談が6月・7月には行われるということで、その時にはもうある程度、学校の先生というのは特にこの1年生に対してはその進路について深く話をしていかなければいけないにも関わらず、実際、今全く情報がない状態というのが、学校の先生も困っているところなのかなと思っています。もちろんしょうがないと思いますが、保護者の方も困っています。

とりあえず、おつ市のこどもはおつ市で何とか育てていきたいという思いもあるので、早くこの情報を開示していただきたいというところです。先ほど言った6月・7月、各学校中学校において差はあると思いますが、早い段階で情報を開示していただきたいというお願いです。先ほどの、準備委員会はまだ4月以降いつスタートなのかわからないというようなお話もあったと思いますが、それを待たずというか、もちろん情報もまだ決まってないところもたくさんあると思いますが、決まっていないから出せないじゃなくて、出せる範囲でどんどん出していかないといけないと思うので、そこはしっかり強く、情報の開示というところに関してはお願いしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(佐藤室長)

はい。情報の開示、公開、提供、というお話ですけれども、開設準備委員会の中で様々な教育内容などについて議論をしていく過程において、情報提供を積極的に、前回の情報交換会のときもお話があったように、提供させていただければと思っています。留めるのではなくて、積極的に発信していくというスタンスでやっていきますので、御協力いただければと思っています。

(座長)

濱田委員、よろしいですか。

(濱田委員)

はい。

(座長)

それではこれに関連する御質問はよろしいでしょうか。ありがとうございます。無ければ次の案件三つ目に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(企画課長)

それでは、今後について御説明いたします。

まず、当検討委員会の設立経緯について改めて御説明いたします。令和4年11月に県教育委員会様に対し、おつ市と関係団体の合計13団体により、教育内容・学校のあり方等を協議するための検討委員会を県主導で設置し検討を進めるよう要望いたしました。その思いは叶わず、「令和7年度から開設準備委員会で検討する」ということであったため、地域の意見をその開設準備委員会に届けることを目的に、市主導で当検討委員会を設置し、令和5年6月から検討を開始したものであります。

そして、以降6回の議論を重ね、要望書として取りまとめ、この度、風張教育長様に地域の声としてお届けし、県教育委員会様からは「開設準備委員会についていく」などの回答をいただいております。

一方で、県教育委員会様は、令和7年度の開設準備委員会の開設に先立ち、開設準備委員会における検討を更に充実させることを目的に、令和6年10月に下北地区統合校教育内容等情報交換会を立ち上げ、これまでに行われた3回の会議の意見をまとめ、開設準備委員会に提出することとしております。

そしていよいよ、来年度は開設準備委員会が設置され、当検討委員会からの意見、そして情報交換会からの意見を引き継ぎ、教育内容や部活動等に関する事項等に深く議論がなされることとなります。

このように、当検討委員会の意見が開設準備委員会にしっかりと引き継がれて、議論が深められていくものと考えておりますことから、当検討委員会は、今回をもって最終回にしたいと考えております。

今後は、市といたしましては、要望の際にも市長から風張教育長様にお伝えさせていただいておりますが、先ほど濱田委員からもありましたが、検討状況等について十分に情報提供をしていただき、こどもたちのために、市と県がお互いに知恵を絞って一緒になって課題の解決に取り組んでまいりたいと考えてございます。

また、先ほど開設準備委員会の委員の構成についてお話もありましたが、このメンバーの中からも委員になる方もいらっしゃると思うので、引き続き開設準備委員会の委員となられる皆様につきましては、地域の代表として、統合校がよりよいものとなるよう議論を深めていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、これまで7回にわたり、お忙しい中御参画いただいた委員の皆様、またオブザーバーの皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(座長)

ありがとうございました。

ただいま担当の課長さんから御説明等をいただきましたけれども、このことについて何か御質問等ございますか。

(半田委員)

これまでの、この検討委員会は市が立ち上げて主導でやってきたものですが、今後は、県主導でやるわけですか。今後は開設準備委員会に、ということですか。

(佐藤室長)

今現在開催されている検討委員会の方は市が主催されているものです。R7年4月以降には開設準備委員会ということで、これについては県が主催して開設させていただきたいと考えています。

(半田委員)

わかりました。

(座長)

はい、よろしいですか。他にございますか。

(( 意見なし ))

(座長)

これで予定していた案件は終了いたしました。この際、特に何か一言という方ございましたらお願いします。

(阿部委員)

まずは御礼を申し上げたいと思います。市が主催している、こうした会議に県教委がわざわざ出向いてこのように情報提供いただいて、心から御礼を申し上げたいと思います。

申し上げたいことが2つあります。1つは皆さんがおっしゃったことの確認にすぎ

ないのですけれども、ここで我々が思った事、それをいくら公表してもそれは意見にすぎません。しかし県教委の皆様がこういうふうにします、というふうにおっしゃればそれは方針になります。したがって、ぜひ県教委としてのお立場から発信をしていただきたいと重ねてお願い申し上げます。

対象は今の中学校1年生で、6週間もしないうちに2年生になります。そして先ほど濱田委員がおっしゃっていたように進路指導が本格的になり、自分がどこに行こうか決める材料が必要になります。

そして、お願いですが、今現在これはこう決まった、これはやらない、これは今検討している、そうした提供の仕方で結構ですので、ぜひ早め早めに、考えていらっしゃることに公表していただくようお願いをしたいと思います。主役は生徒ですから、ぜひお願いしたいと思います。

そして二つ目は、一自治体の人間が言う話ではなくて分不相応ですけれども、新しい統合校に夢を持っていて、皆さん御承知のように今全国的に公立高校がかなり苦しいですね。私学に席卷されて、授業料の無償化等も追い風になって、いろいろな状況、こどもが減るとか、人口が減るとか、そうしたものの最初に被害を被るのが、やはり地方、地方都市であると思います。

全国でも青森県、県内でもむつ市が一番そうした苦境に陥るのが早いので、最初にいろいろやらなければならないと思っています。

ただ逆に言うとそうしたことがチャンスにもなり得るのではないのかなと思います。全体の高校がみんな苦勞していることを、新しい統合校が、今までは学校の中で学科を超えた学びと考えていましたが、県の方ではリモート学習の学科が創設されることも伺っておりますので、学校・地域を超えた学びができる、むつ市のこどもも都内のこどももどこに行っても同じことができる、そうした形に新しい学校ができるのではないのか、そのあたりを皆さんのお話を伺いながら、県教委様の回答を聞きながら思っていました。

ぜひそうした学校を目指してともに歩いていければと思います。そうすることができれば、この地域の子どもたちが教育環境に関わらず、本来持っている可能性、力を十二分に発揮できるのではないのかなと考えています。

まずは本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしく願いいたします。

(座長)

ありがとうございました。以上で議事を終了いたしますけれども、最後に当たりまして、私から御礼と御挨拶を申し上げたいと思います。

80歳近くになりまして、大任を仰せつかって今日までやってまいりました。本当に自分自身、会議が終わって帰る車の中で、運転を誤るのではと思うくらい、「あそこはこうすればよかった」と思うことがしばしばでございました。

ともかく、こういった形で皆さんの御支援によってここまで来たことを改めて厚く御礼を申し上げます。

下北地区は、私もかつて2年間、わずか2年間でしたけれども、まだ大間町に定時制高校がある時代、杉山市長時代に2年間勤務してお世話になりました。そういった思いがあって取り組んだわけでございますけれども、ぜひぜひ、この下北地区にとってこのむつ市の学校しかないわけですから、一部上北地区からも来ている学校ですので、ぜひ今日お集まりの皆様方、それぞれの分野で御活躍の、力のある方々でございまして、ぜひ皆様のお力添えて、この検討の対象になった学校が、良い形でスタートを切り、人材育成に大いなる力を発揮するようになることを心から念願して、終わりにしたいと思います。

本当にありがとうございました。

### 3. 閉会

(司会)

以上をもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。これまでの御協力、誠にありがとうございました。